

「社会を明るくする運動」の作文

『周りの人の事を考えれるように』 一組 池永健人

中学生になり、体が大人へと近づく真っ只中、僕の心に変化が見えてきました。背が伸びたりして嬉しい気持ちもあったけど、反面困った気持ちもありました。

それは些細なことですぐイライラしてしまうことです。例えば、母のちょっとした小言で、頭にきたりします。

「うるさい」

そうやってしまったこともあります。それに少し嫌なことがあっただけで、物を投げつけそうになったこともあります。

でも、母や物にあたってしまった後で、いつも嫌な気持ちになります。イライラしてしまう自分が嫌で余計にモヤモヤとしてくるのです。冷静になってから考えると、どうしてそんなことをしてしまったんだ。という思いが浮かんできます。自分は悪い人間なんだと思って心配にもなります。このような複雑な気持ちは今まで味わったことのない気持ちでした。

でも、そんなモヤモヤした気持ちも落ち着くことがあります。楽しい事があったり、寝たあとです。楽しい事は友達と遊んだり、話したりすることです。そんなとき、友達の存在はとてもありがたいです。たまには愚痴をこぼしたりもします。でも友達はそんな僕の気持ちをわかってくれているように感じます。また、母とケンカして、イライラしたまま寝ても次の日になって

「おはよう」

と元気にあいさつすると、昨日の事なんて忘れられます。母も何事もなかったかのように

「おはよう」

と笑顔であいさつを返してくれるからだと思います。

最近では、このように、モヤモヤした気持ちも。上手に気分転換ができると、乗り切れるんだということがわかってきました。そして、それは周りの人達のおかげでもあるのだということもわかってきました。僕に付き合ってくれる友達や、八つ当たりしても、決して僕を見放すことのない母のおかげだということです。母が小言をいうのも、僕の事を心配してくれているからです。放っておいてほしい。と思うことがあるけど、もし、自分が何をしても怒られない環境にいたら、悪い人になりそうで怖いです。自分を怒ってくれる人がいるのは、当たり前ではなく、幸せなことなんだと思います。

僕には、勉強で上手くいかない時でも、一緒に教え合える友達があります。そして、どんなにひどい事を言っても、絶対に応援してくれる家族があります。だから、嫌なことがあっても、忘れることができたり、安心してもう一度頑張ろうという気持ちになります。

社会を明るくするために、僕にできることはいったい何だろうと考えてみました。社会には災害や貧困などで苦しんでいる多くの人があります。難しい問題で、僕一人の力では大したことはできないのではないかという様な気持ちにもなります。でも、今回、周りの人達のおかげで、前向きな気持ちになれました。だから、僕がしてもらったように、僕も他の人の心を明るくすることができるかもしれません。友達が僕を必要としているときは、一緒にいてあげたいし、家族にも明るい笑顔でいてもらえるようにイライラを抑えたいです。そして、これからはもっと、他の人の事を気にかけて、寂しい思いをしていないか、嫌な思いをしていないか、気遣いたいです。

僕のしたことで、誰か一人の心でも明るくなってくれたら嬉しいです。僕のできることは、小さなことだけれど、僕の周りの人が明るく前向きになってくれるように、頑張りたいです。